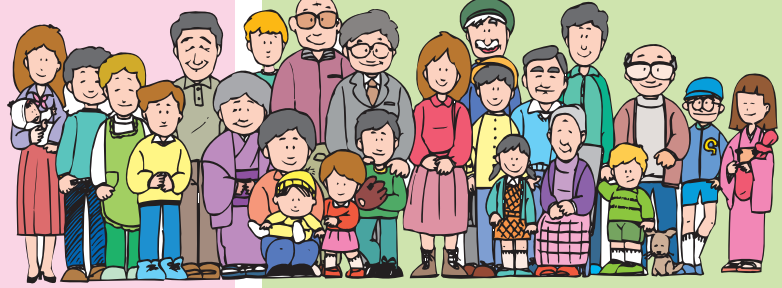


自民党主導で 未来に明るい京都市政

いじめ防止へ条例を制定 日本共産党市会議員団は反対!

今議会で『京都市いじめの防止等に関する条例』が制定されました。この条例は、◎いじめの防止等のための取組を推進するための基本的施策◎子どもの豊かな心と規範意識を育む関係者会議の設置◎重大事態への対処◎いじめ問題調査委員会の設置等が明文化され、京都市は『子どもを共に育む京都市民憲章』及び基本理念にのっとり、子どもの発達段階及び特性に応じたいじめの防止等のための取組を推進しなければならないとされています。京都市が提案した本条例案に日本共産党京都市会議員団は、反対しました。



ごみ屋敷解消へ条例を制定

『京都市不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例』が制定されました。この条例は、いわゆる「ごみ屋敷」等の不良な生活環境の解消を推進するため、◎要支援者が抱える生活上の諸課題の解決◎市民の安心かつ安全で快適な生活環境の確保◎

市民が相互に
支え合う地域
社会の構築等
が趣旨とされて
います。

活動報告

よりよい市民生活の実現の為、各地を視察、さまざまな分野において勉強会を開催しています。

武雄市視察

7月2日に他都市調査で佐賀県武雄市を訪れ、樋渡啓祐(ひわたし けいすけ)市長から説明聴取を受けました。主な内容は、利用者が少なかった図書館を、単に学習する施設でなく、スターバックスや書店の出店、Tポイントカードの導入など、地域の活性化にも効果のあった施策等をうかがいました。



サマーセミナー



8月19日に毎年恒例のサマーセミナーを開催しました。元国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所、河川局防災課長の宮本博司氏から京都の治水の歴史や近年多発する局地的集中豪雨対策等について講義を受け、本市の防災・減災に役立つ施策につながるものでありました。

予算要望提出

10月27日に門川大作市長に次年度の予算要望を提出しました。主な内容は、近年の豪雨災害を踏まえた大規模災害対策の総点検や体制強化、安心安全なまちづくりのための防犯カメラの設置推進や街灯の新設・更新、保育施設の耐震改修の早急な実施と保育士不足を補うための処遇改善に向けた予算確保、東京オリンピックパラリンピックを見据えた多言語による観光客へのマナー啓発用の看板設置などで、新規22項目を含む210項目を要望しました。



自民党議員団が提出した意見書

- 農業委員会制度・組織改革が真に農業者のためになる改革となるよう求める意見書
- 軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取組の推進を求める意見書
- 魅力ある地方都市の構築へ向けた施策の推進を求める意見書
- 奨学金制度の充実を求める意見書
- 「危険ドラッグ」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

決算特別委員会市長総括質疑での主な質疑内容 (一部抜粋)

- 行政区別に収支と費用対経済効果を分析する「地域別会計」導入の必要性
- 日本の文化や京都の魅力をいかした国立京都国際会館の整備と有効活用
- 伝統産業活性化のための国内外における販路開拓の取組とその成果
- 市民に好評な有害・危険ごみ等の移動式拠点回収事業の積極的展開
- 収支計画を超える使用料収入の多くを本市に納入する仕組みが指定管理者の意欲をそぐことの懸念
- 街頭防犯カメラと安心安全ネットワーク形成事業との効果的な連携
- 市営保育所の民間移管推進に当たって民間保育園への保育士の加配など障害児保育に係る公民格差の解消
- 子ども医療費支給制度の更なる拡充への決意及び今後の方向性
- まちの匠事業の利用促進を図るための早急な制度の見直し
- 公園や学校施設の危険木の管理徹底と市が管理する樹木の建設局での一括管理の考え
- 消防団施設の耐震化の状況及び事業完了に向けた早期の取組の必要性
- 国の法改正による消防団員の報酬制度導入についての今後のあり方
- 烏丸御池駅の可動式ホーム柵の供用開始時期
- 琵琶湖疏水船下りの事業者選定状況と乗船客への安全対策及びサービス内容

25年度決算全会計の歳出決算規模

一般会計	7,116億 4,300万円
特別会計	6,841億 8,200万円
公営企業会計	2,183億 9,000万円
全会計合計	1兆6,142億 1,400万円

特別会計 歳出決算規模

国民健康保険事業	1,498億 3,100万円
介護保険事業	1,114億 2,900万円
後期高齢者医療	161億 2,300万円
基金	764億 8,200万円
市公債	3,078億 3,100万円
その他	224億 8,400万円
合計	6,841億 8,200万円

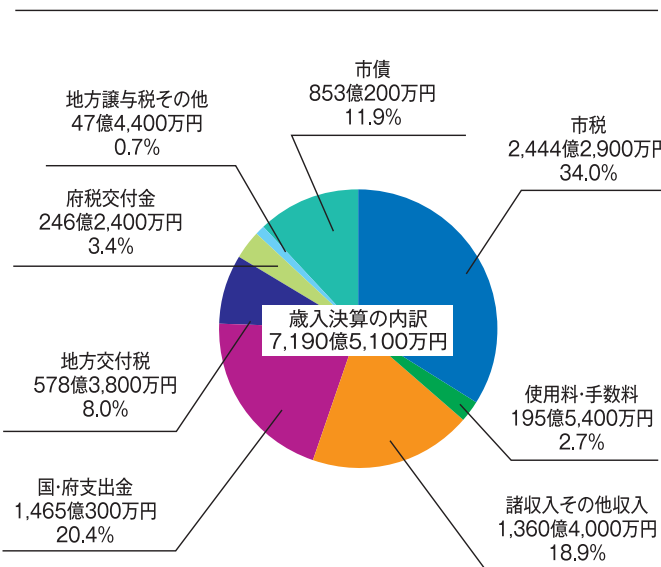
一般会計

歳入総額	7,190億 5,100万円
歳出総額	7,116億 4,300万円
歳入歳出差引額	74億 800万円
翌年度に繰り越すべき財源54億 2,300万円 (繰越事業費—未収入特定財源) (210億1,800万円—155億9,500万円)	
実質収支	19億 8,600万円
単年度収支	+1億 2,100万円

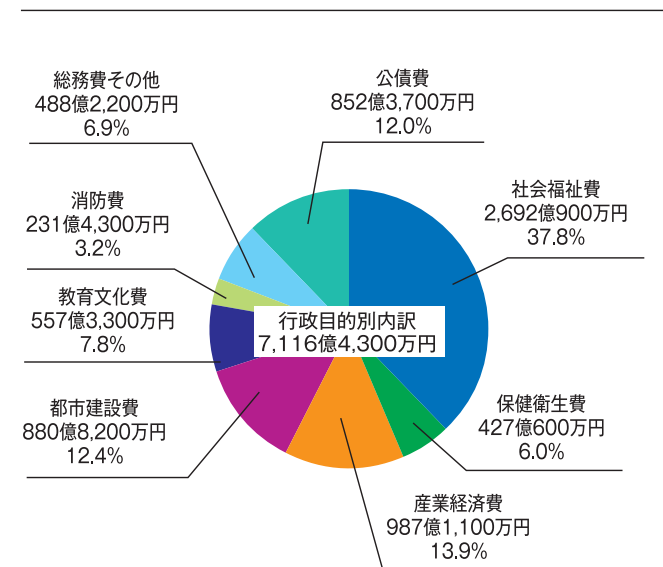
公営企業会計 歳出決算規模

水道事業	531億円
公共下水道事業	812億 9,600万円
自動車運送事業	197億 300万円
高速鉄道事業	642億 9,100万円
合計	2,183億 9,000万円

平成25年度 一般会計歳入決算の内訳



平成25年度 一般会計歳出決算の内訳



※百万円未満を繰上処理しているため、合計の一致しない箇所があります。



私たち自民党市会議員団に
皆様のご意見やご要望をお寄せください。

自民党
京都市会議員団

TEL 075-222-3718 FAX 075-257-3091
〒604-8571 京都市中京区河原町御池 <http://jiminyokyo.jp/> Eメール jimin3@nifty.com

